

海没地区で初漂着海ごみ&軽石回収作業を実施



作業後、参加者の記念撮影

第6回のビーチクリーンは、海没地区(サンエーパルコ側ゲート下付近)で、12/11(土)、10:00~11:30、汗ばむ陽気の中、前回に続き漂着軽石の回収作業も合わせて実施しました。当日の参加者は48名、普天間基地、前田産業ホテルズ、あんしんサービス、笹尾商工・NEOS、港川自治会、浦添市(西海岸開発課、環境保全課、美らまち推進課、秘書課)、浦添市観光協会、市民の皆さんです。土曜日午前中の開催でしたが、多くの参加者が協力して効率良く想定以上に作業ができました。年内最後のビーチクリーンに協力頂き、ありがとうございました。

回収作業の様子



土嚢袋を運搬車両へ積み込み



回収した海ごみ



詰替え作業、ご苦労様でした



トン袋に詰めた軽石(計画は6袋、最終11袋)

市民協働の成果が結実、里浜づくりに

当初の計画にはなかった漂着軽石の回収、西海岸でも10月頃から日増しに目立ち始め、沖縄県の方針を確認しながら関係機関と調整して開催することができました。海ごみとは違い軽石定着状況を把握、手作業の回収・移動方法、短時間で効率良く仮置場まで運搬できる車両の確保、様々な条件を組み立てながら。今後、繰返し実施できる協力の仕組みづくりでは、隣接するサンエーパルコの駐車が利用可能に、那覇港管理組合から土嚢袋・トン袋を借用、仮置場の提供、回収した海ごみ・トン袋に詰めた軽石を浦添市の運搬車両で仮置場に移動、那覇港管理組合が11のトン袋の軽石を処理場へ運搬する連携方策は西海岸の活動モデルとして、さらに検証する価値は十分あると思います。そして何より、里浜ビーチクリーン活動への意識の高まりは、企業、行政機関、市民のボランティアによる協力の輪が着実に広がり地域に根差していると実感しました。今年度計画した助成事業でのビーチクリーンは終了しますが、成果と課題を振り返り次に繋げる取組みに繋げていきたいと思っています。

回収した海ごみ類一覧 単位:kg(ごみ袋数)

燃えるごみ	燃えないごみ
・プラスチック類(ペットボトル等) ・漁具ロープ、浮き球 ・発泡スチロール等	・ガラス片 ・鉄缶、アルミ缶類 ・陶器類等
32.0(4)	10.0(2)
合計 42.0 (6)	

回収した軽石

軽石
・土嚢袋 600 (300×2回)
約13.5kg/1袋×600=8,100kg
合計 8,100kg (トン袋11)